

新規事業採択時評価結果(R6年度新規事業化箇所)

担当課: 道路局 国道・技術課  
 担当課長名: 高松 諭

事業の概要

事業名	一般国道29号 津ノ井バイパス (広岡～西大路)	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自: 鳥取県鳥取市広岡 至: 鳥取県鳥取市西大路	延長	2.8km		
事業概要	一般国道29号は、兵庫県姫路市から鳥取県鳥取市に至る延長約120kmの主要な幹線道路である。 一般国道29号津ノ井バイパス(広岡～西大路)は鳥取市東部に位置する延長2.8kmの道路である。				
事業の目的、必要性	一般国道29号津ノ井バイパス(広岡～西大路)は、鳥取市東部の混雑緩和による円滑な物流の確保、幹線道路の安全性の向上、救急医療活動の支援等を目的とした道路である。				
全体事業費	約90億円	計画交通量	約14,200台/日～25,000台/日		
事業概要図					

**関係する地方公共団体等の意見**

一般国道29号津ノ井バイパス(広岡～西大路)を予算化することについて同意します。  
 一般国道29号は鳥取県東部を南北に貫く主要な幹線道路であり、そのうち津ノ井バイパスは、昭和60年に高架による全線4車線化計画で都市計画決定され、平成22年までの間に順次整備されて暫定供用を開始しています。  
 その後、沿線では工場等が多数立地し、主要渋滞箇所が2箇所存在するなど、渋滞対策が大きな課題となっています。  
 地元市町(鳥取市、八頭町、若桜町)からも「『地域創生』の実現へ向け、産業振興による地域経済の活性化、地域間交流の促進、防災・医療体制の充実を図るために対策が必要」、「八頭町・若桜町から鳥取市内への通勤時に支障となる渋滞箇所を解消し、両町への移住定住の促進を図るために対策が必要」などの意見が出ており、地域住民の安全・安心を守り、近年観光客が増加している鳥取県東部の更なる地域振興を図るため、ボトルネックとなっている津ノ井バイパスの早期の渋滞解消が必要です。  
 本事業が決定した際には、事業実施に伴う地元及び関係機関調整への協力、工事中の渋滞対策への協力のほか、西大路交差点と交差する、鳥取市道中大路雲山線、富安大路線の改良についても、鳥取市と協力して積極的に取り組んでまいります。  
 つきましては、津ノ井バイパスの令和6年度新規事業としての予算化について、特段の御配慮をお願いします。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**

・新規事業化については妥当である。

**事業採択の前提条件**

費用便益: 便益が費用を上回る。  
 手続き等: 都市計画決定(S60. 1)、一部都市計画変更(H6. 7)、  
 鳥取県道路交通渋滞対策部会にて優先整備区間の選定(R6. 2. 27)

事業評価結果

費用便益分析 (参考)	B/C	1.4	EIRR	6.2%	総費用	75億円	総便益	105億円	基準年	令和5年
		2.0 [2%]			事業費	67億円	走行時間短縮便益	69億円		
		2.4 [1%]			維持管理費	8.4億円	走行経費減少便益	29億円		
		感度分析		交通量変動	B/C=1.2～1.6 (変動ケース: ±10%)					
				事業費変動	B/C=1.3～1.5 (変動ケース: ±10%)					
				事業期間変動	B/C=1.3～1.5 (変動ケース: ±20%)					
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠						
		渋滞対策	○	・津ノ井バイパス周辺は沿線の開発が進み、店舗や工場等が進出。また、新津ノ井工業団地、若葉台南工業団地、若葉台北工業団地等の複数の工業団地が立地している。 ・対象区間では、主要渋滞箇所が2箇所(南栄町、西大路)存在しており、旅行速度の低下による物流の速達性・定時性の低下が生じている。 ・当該区間の整備により交通混雑が緩和され、若葉台南工業団地～鳥取ICの速達性・定時性が向上。 <b>【所要時間の短縮】</b> 現況:17分 → 整備後:13分 <b>【旅行速度の向上】</b> 現況:27km/h → 整備後:35km/h						
		事故対策	○	・対象区間では死傷事故が12件(H30～R3の4年間)発生しており、渋滞に起因する追突事故をはじめ、歩行者横断中、出合い頭による事故が発生。 ・南栄町交差点においては、死傷事故率が235件/億台キロと高く、安全性に課題。 ・混雑による旅行速度の低下が解消し、交通事故が減少。 <b>【死傷事故件数】</b> 現況:12件/4年 → 整備後:9件/4年						
	社会全体への影響	歩行空間	—	注目すべき影響はない						
		住民生活	○	・鳥取県東部では、第三次救急医療施設は鳥取県立中央病院のみ。 ・八頭町、若桜町方面から、鳥取県立中央病院へは、国道29号が唯一の幹線道路であるが、朝夕ピーク時の交通混雑により、地域医療の円滑性を阻害。 ・当該区間の整備により第三次救急医療施設への速達性・定時性が向上し医療活動の円滑化に寄与 <b>【鳥取県立中央病院～鳥取市・八頭町境の所要時間】</b> 現況:32分 → 整備後:28分						
		地域経済	○	・当該区間を含む国道29号は、鳥取市・鳥取港への重要なアクセスルートだが、混雑により輸送力が低下し、企業の部品輸送や資材調達の産業・経済活動に影響を与えている。 ・当該区間の整備により、鳥取市中心部や鳥取港へのアクセスも含めた物流の効率化が見込まれ、沿線都市の商業・産業施設の整備が促進され、更なる都市機能の発展に寄与。 <b>【若葉台工業団地～鳥取港の所要時間】</b> 現況:32分 → 整備後28分						
		災害	○	交通円滑化により第一次緊急輸送道路である国道29号の機能が強化される。						
		環境	—	注目すべき影響はない						
地域社会	○	・当該区間は、鳥取県東部の主要な観光地である鳥取砂丘と、近年観光客数が増加している八頭地区を結ぶルートであり、混雑により、速達性・定時性が阻害され、周遊性に影響を与えている。 ・当該区間の整備により、主要な観光地へのアクセスが向上し、鳥取県東部地域を訪れた観光客の周遊性が向上する。 <b>【鳥取砂丘(鳥取市)～船岡竹林公園(八頭町)の所要時間】</b> 現況:57分 → 整備後53分								
事業実施環境	○	・都市計画決定手続き完了(S60. 1) ・鳥取県知事等より早期事業化を要望								

採択の理由

費用便益比が1.4と便益が費用を上回っているとともに、事業採択の前提条件が確認できる。  
 また、当該区間の整備により円滑な物流の確保、幹線道路の安全の向上、救急医療活動の支援が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。  
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。  
 ※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。( )内は社会的割引率の値